



検査科

あけましておめでとうございます。

安心できる良質な検査を受けていただけるよう検査情報から結果報告と患者様に寄り添った検査対応に努めてまいりますので本年もどうぞよろしくお願い致します。

〈検査科一同〉

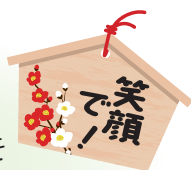


放射線科

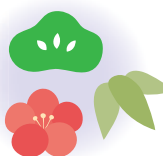
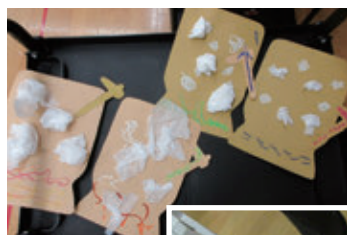
新年あけましておめでとうございます。

患者様には、最良かつ安心安全な検査を提供できるよう、スタッフ一同取り組んで参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

〈放射線科一同〉



1月のギャラリー展示は「もちつき」です。お花紙をぎゅっと握っておもちを作ったり、白色のペンでおもちを描いたりしながら、それぞれの「もちつき」作品が完成しました。BGMにお正月の音楽を流して、一足お先にお正月気分で作品作りをしました。完成した作品はやまばとギャラリーに展示してありますので、ぜひご覧くださいね。(児童指導員 平田 真理子)



[第50回] 東海北陸 脳神経筋ネットワーク研究会が 当院で開催されました

第50回という節目を迎えた本研究会は、午前中に各職種の分科会、昼にランチョンセミナー、午後からメインの各種研究発表、と神経筋疾患に関わる多職種の知見を共有する貴重な学びの場となりました。

午後の発表の第一部では、リハビリテーション職種と看護師による発表の中、各種神経疾患に対し、各職種の視点で運動機能や意思疎通に課題を抱える患者への支援をテーマにした発表が目立ちました。リハビリテーション技術の効果検証や、意思伝達装置の活用、身体拘束適正化など、患者の尊厳を守る視点が強調されていたことが印象的でした。また、災害対策への取り組みについての発表もあり、セーフティネット系医療ならではのバラエティ豊かな内容となっていました。

第二部では、看護師を中心に、様々な職種の発表があり、個性の高い栄養介入や在宅療養支援、家族への心理的サポートなど、生活の質を支える視点が際立ちました。転倒防止アセスメントや手指消毒の意識調査は、日常業務の改善に直結するテーマであり、今後の実践に活かせる内容でした。

総じて、医療技術のみならず、心理・社会的側面への配慮の必要性を再認識し、また多職種連携の重要性を改めて感じた研究会となりました。(理学療法士長 楠川 敏章)

通所支援事業の ひとコマ

寒さが本格的にやってきた12月初旬、通所ではクリスマスツリーの飾りつけを行いました。大きなツリーが利用者さんの前に現れ、いざ飾りつけ開始!金色に輝くプレゼントやトナカイ、雪の結晶などのさまざまな可愛いオーナメントが次々に飾りつけられ、ツリーがどんどん賑やかになっていきます。「どんな感じになるんだろう?」と利用者さんも興味津々な様子で見守りながら作業を進めました。全てのオーナメントをツリーに飾り終え、ライト点灯!キラキラ光り輝くクリスマスツリーに、皆さんも目を輝かせて喜ぶ様子がみられました。また、通所の玄関ホールには利用者さんが作ったクリスマスリースを展示し、通所全体がクリスマス一色となりました。クリスマスに向けて心躍る素敵な1日となりました。



(児童指導員
森 日奈子)